

1. 適用範囲

本書は、DF38 シリーズ (DF38-※P-0.3SD と DF38-※P-SHL) を極細同軸ケーブル (AWG#42~46) に結線する際の手順について規定するものです。

2. コネクタ品名

品 名	一般名称
DF38-※P-0.3SD	プラグユニット
DF38-※P-SHL	シェル

※=極数

3. 部品構成

本コネクタは、コネクタユニットに中心導体はんだ付け後、シェルを組み込む構造になっています。

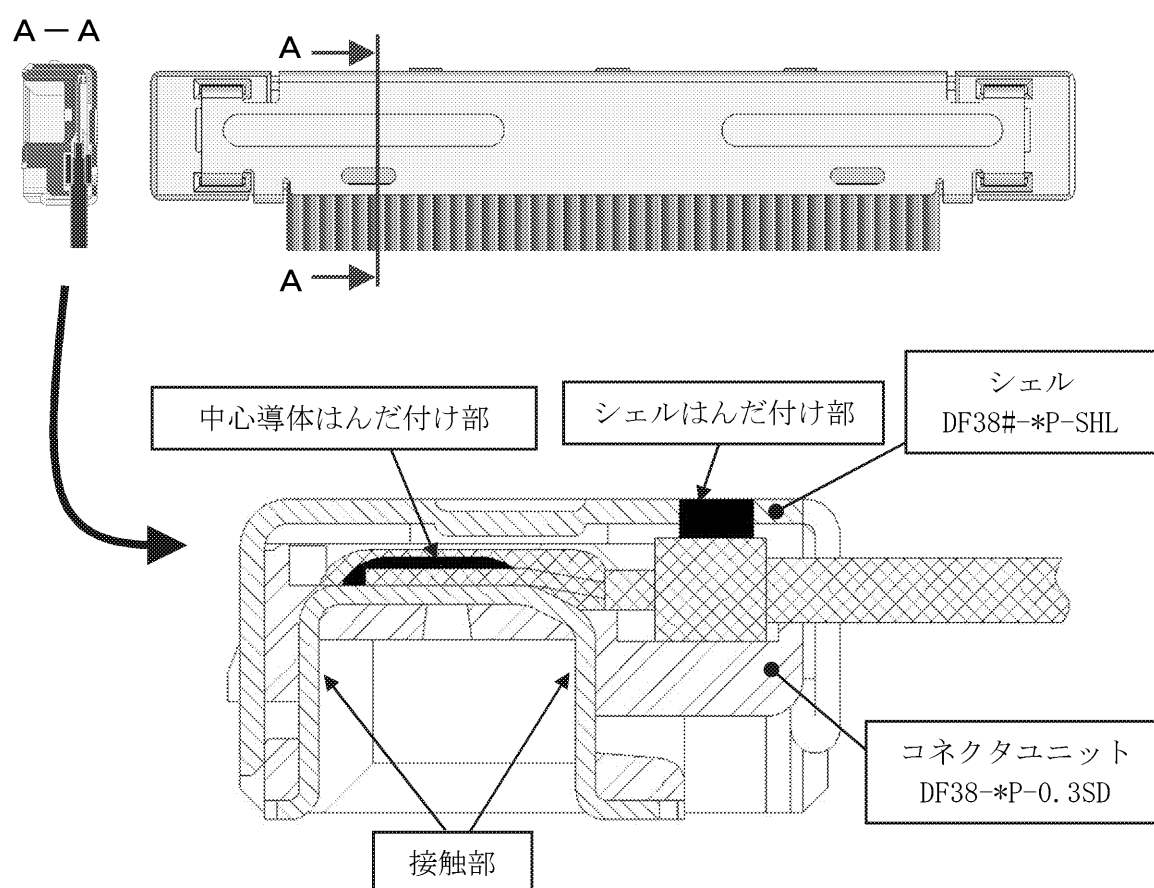


図 3-1. コネクタ図

COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
△				
名 称	TITLE	HRS HIROSE ELECTRIC CO., LTD.		
DF38 シリーズ	結線手順書	APPROVED	TY. OMA	07. 08. 01
		CHECKED	TS. SAKATA	07. 08. 01
		DESIGNED	SZ. ONO	07. 07. 31
		WRITTEN	SZ. ONO	07. 07. 31
技 術 指 定 書	TECHICAL SPECIFICATION	ATAD-H0221	△	1 /

本コネクタに使用する極細同軸ケーブルは、結線前に図 4-1 に示すような整列処理が必要です。

(カット前の整列方法は一例です。)

* n は極数

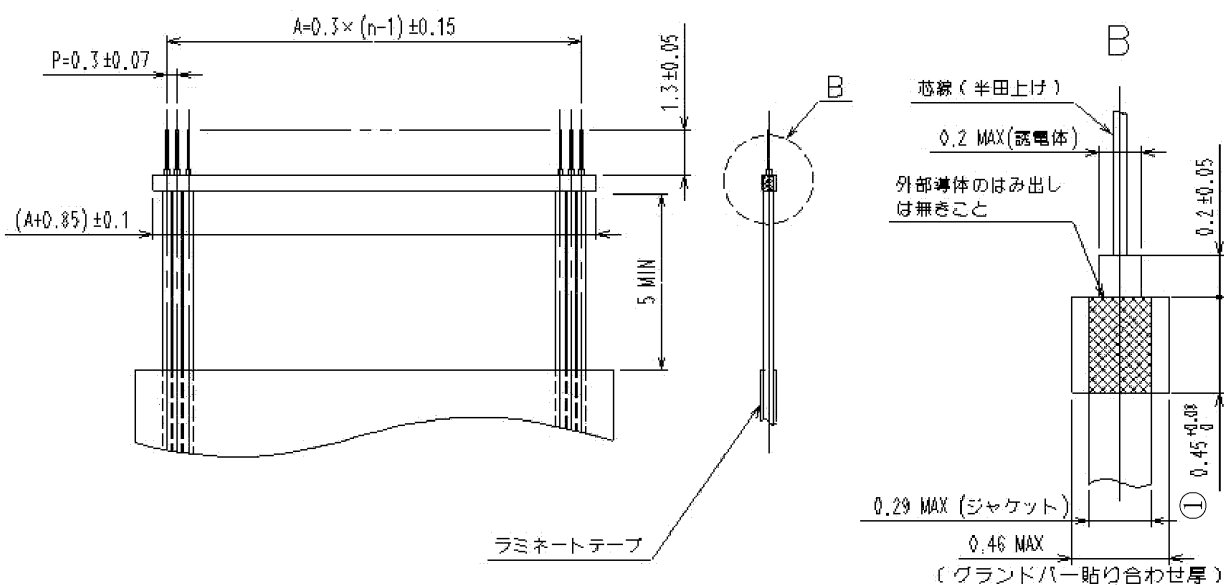


図 4-1. ケーブル寸法

【注意事項】

- ① 寸法 0.45 (+0.08/-0) mm はグラントバー貼り合わせ後の寸法となります。
- ② グラントバーからの外部導体のはみ出しは、無きこと。(図 4-2 参照)
- ③ 鉛フリー対応のこと。

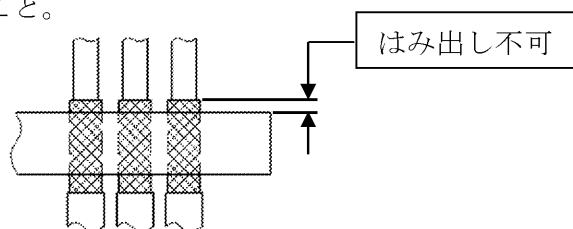


図 4-2. 外部導体はみ出し

5. ハーネス手順

5.1. 中心導体余長切断

中心導体を下図の位置にて切断します。

$$C = 1.3 \pm 0.05 \text{ mm}$$

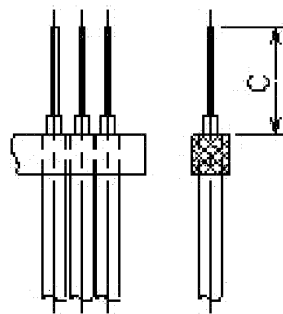


図 5-1. 余長切断寸法

5.2. はんだ／ケーブルセット

コネクタユニット上に糸はんだおよびケーブルをセットします。

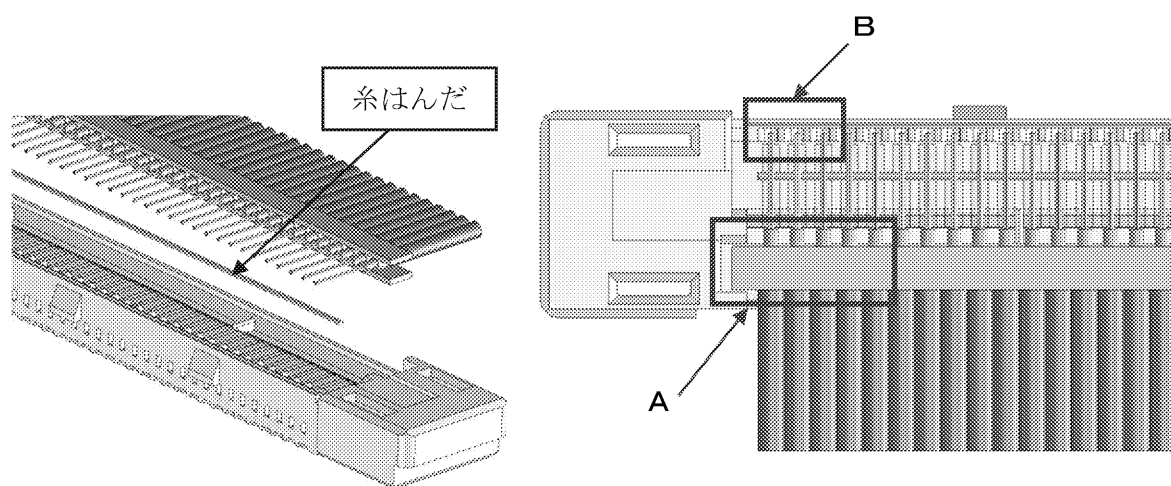


図 5-2. 糸はんだ／ケーブルセット

【推奨はんだサイズ】 $\phi 0.1 \text{ mm}$ 長さ $N \times 0.3 \text{ mm}$ (N: 極数)

【注意事項①】 グランドバーと収納位置の中心が合うようにセットして下さい。
(シェルはんだ付け穴との位置合わせのため)

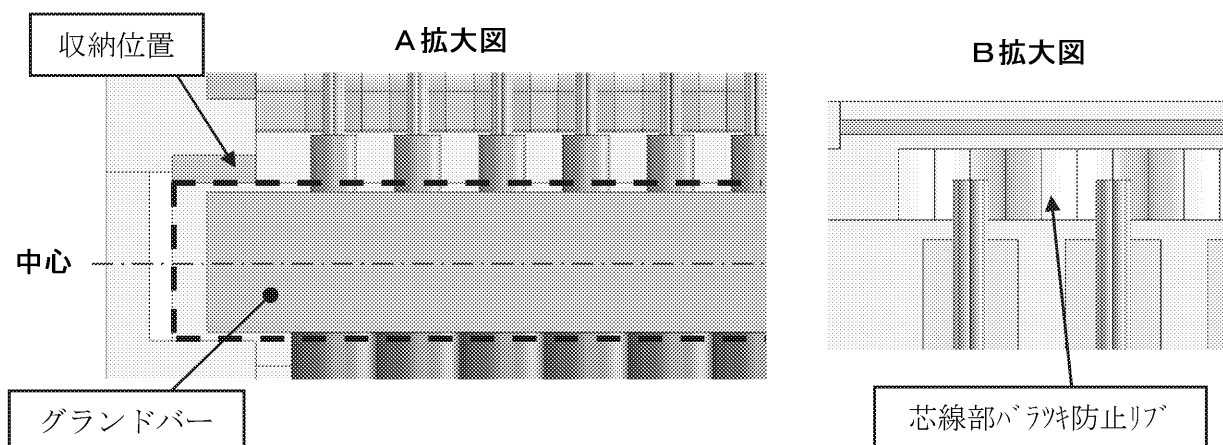


図 5-3. ケーブルセット注意

5. 3. 中心導体はんだ付け

パルスヒーターにて中心導体を一括はんだ付けします。
ヒーターチップ、製品受け台の寸法は下記製品の図面を参照下さい。

品 名	名 称
DF38-*P/SO-AD-A	中心導体はんだ付け治具

*：極数

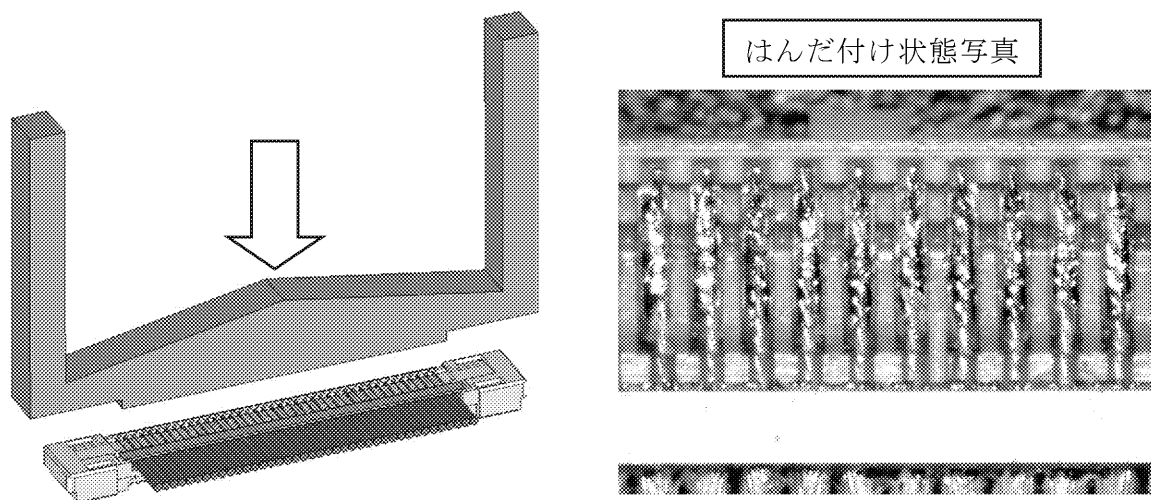


図 5-4. 中心導体はんだ付け

【 はんだ付け耐熱条件 】

MAX270℃，5 秒以内 / 200℃以上，30 秒以内 モールド溶けの無きこと。

【 注意事項 】

図 5-5 の様な中心導体の先端浮き上がりが発生しないよう注意して下さい。
(シェル組込み後にショートの恐れがあるため。)

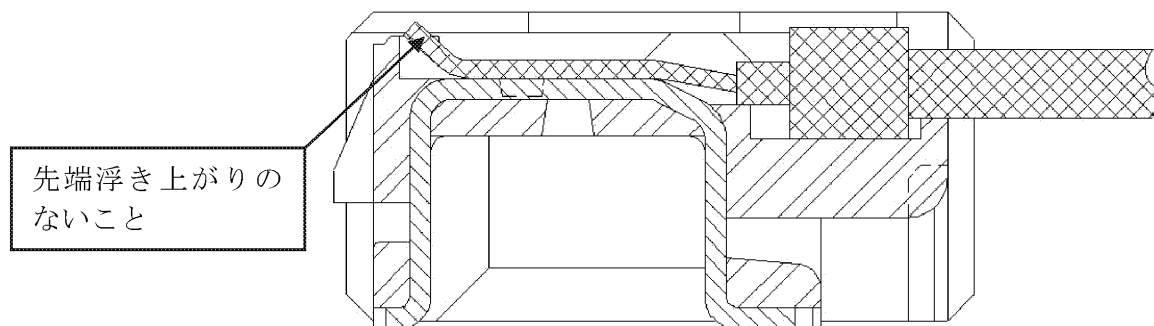
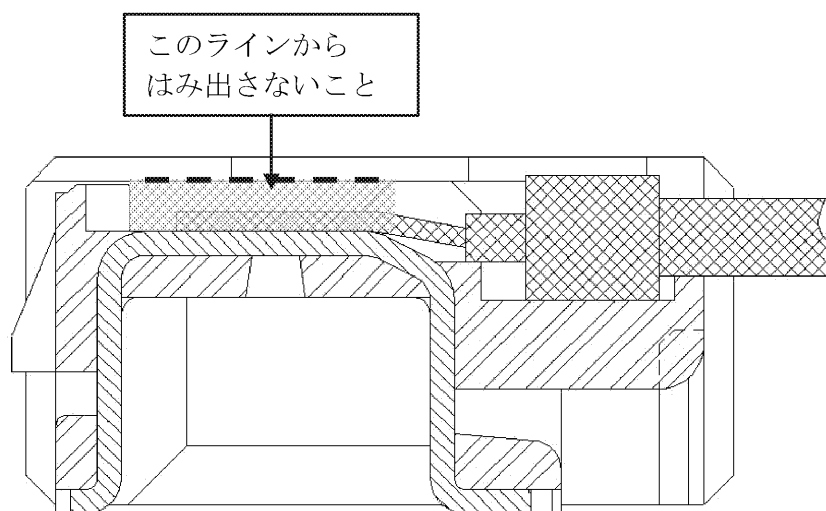


図 5-5. 中心導体注意

5. 4. UV ポッティング

中心導体とシェルの絶縁のため、はんだ付け部に UV 硬化樹脂を塗布します。

【注意事項①】 UV 硬化樹脂塗布範囲は、中心導体およびはんだを覆い、かつ下図のラインからはみ出さないようにして下さい。



【注意事項②】 UV 硬化樹脂はスリーボンド製 3033 または同等品を使用して下さい。
紫外線照射条件等は UV 硬化樹脂メーカーの推奨条件に従って下さい。

5.5. シェル組込み

コネクタユニットにシェルを組み込みます。

5.5.1 P シェルを絶縁座に組込み（手作業 治具不要） 垂直方向に圧入（図 5-7 参照）

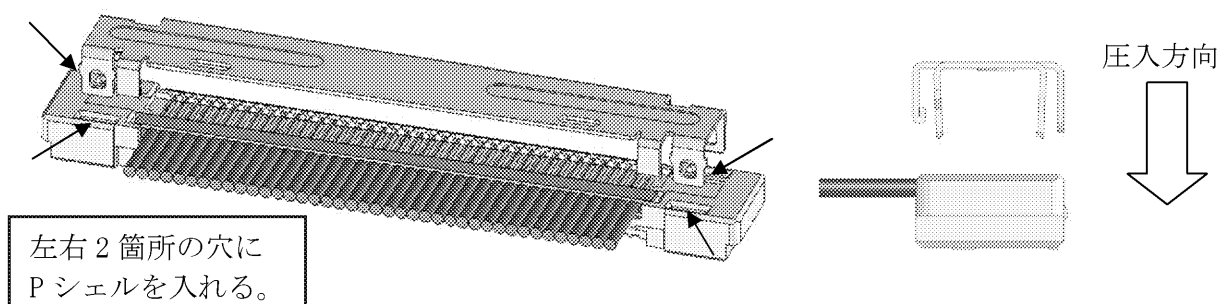


図 5-7. P シェル組込み

【組込み確認ポイント】

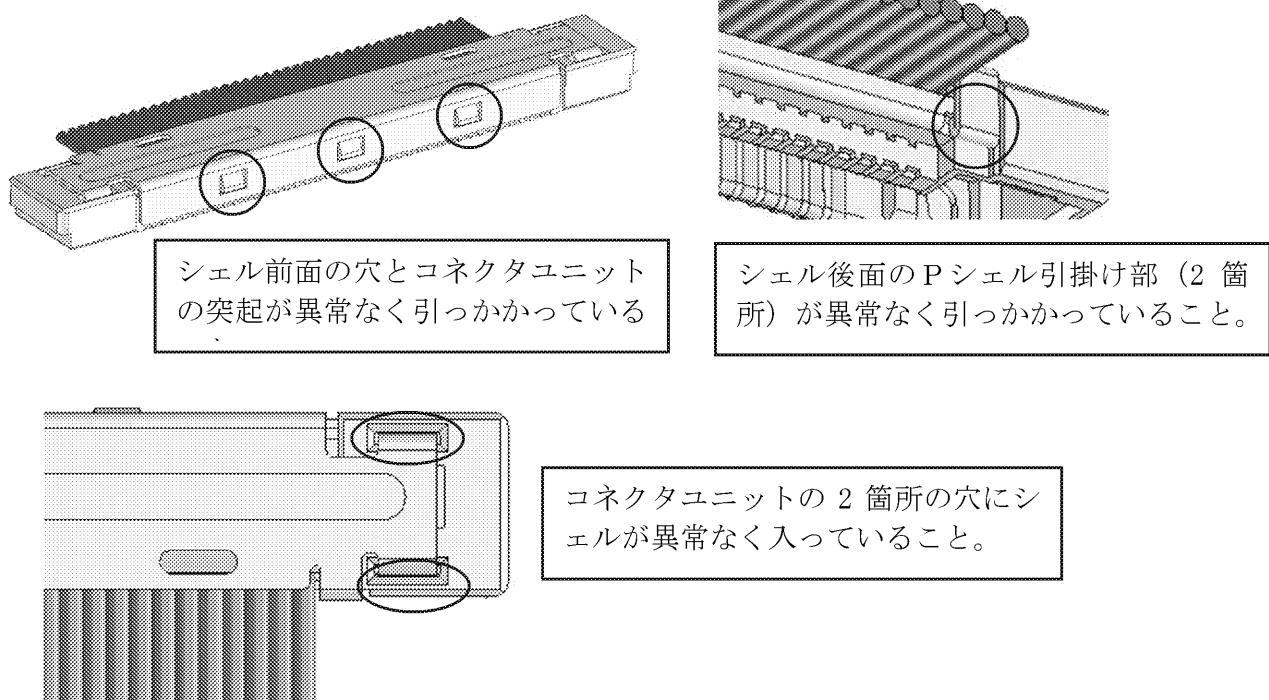


図 5-8. P シェル組込み確認箇所

5.6. シェルはんだペースト塗布

シェルの穴にはんだペーストを塗布。



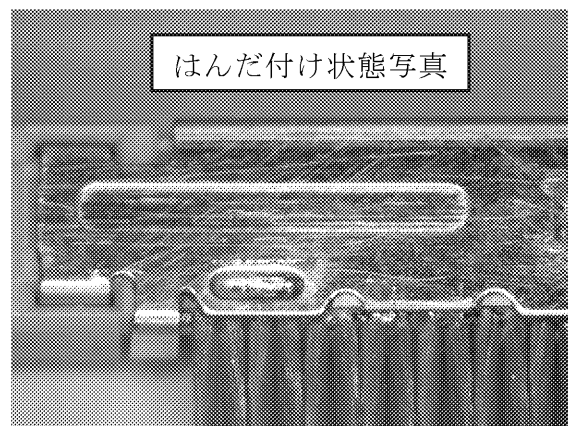
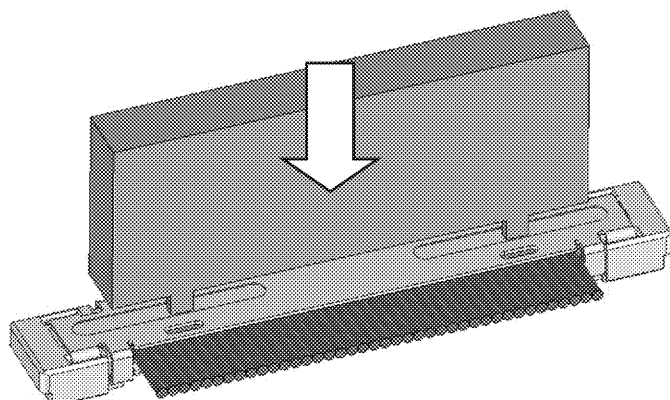
図 5-9. P シェル半田付け部

5.7. シェルはんだ付け

パルスヒーターにてシェルとグランドバーを一括はんだ付けします。
ヒーターチップ、製品受け台の寸法は下記製品の図面を参照下さい。

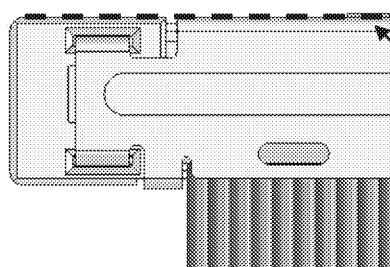
品 名	名 称
DF38-*P/SO-AD-B	シェルはんだ付け治具

*：極数



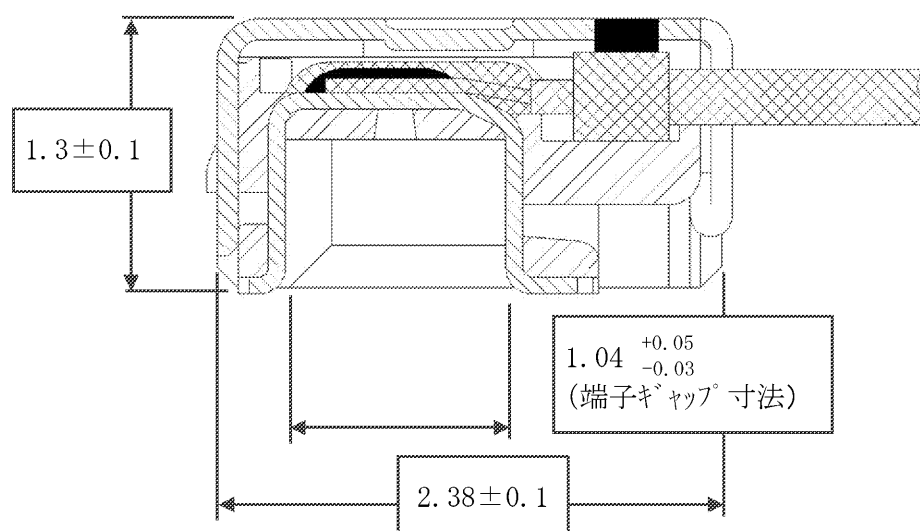
【注意事項①】本コネクタは、シェルとグランドバーのはんだ付けにより電線の固定を補助する構造になっております。アセンブリ完成前の電線応力負荷や、基板側コネクタとのカン合は避けてください。

【注意事項②】はんだ付けセットの際には、コネクタユニットとシェルの下図のラインが揃うようにセットして下さい。



このラインが揃っている事

【完成品寸法】ハーネス完成後の寸法規格は以下の通りとなります。



5-8. 電気検査

電気検査用基板側コネクタ品名は 下表の通りとなります。

品 名	名 称
DF38#J-*S-0.3V	検査用レセプタクル

*：極数

#：種別記号

電気検査の際は、断線、破損、変形等の発生が無いことを必ずご確認ください。また、一部の電線のみに負荷が掛からないように注意するとともに、電線を斜めに引張って無理に抜去することも避けて下さい。